

映像事業

KAVC CINEMA 「ナイトクルージング」

見えない監督の映画に、あなたは何を”観る”か？

生まれながらの全盲者の映画制作を追うドキュメンタリー

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、KAVC CINEMA にて「ナイトクルージング」を上映する運びとなりました。

視覚がなく、光すら感じたことのない全盲である加藤秀幸は、ある日映画を作ることを決め、映画制作におけるさまざまな過程を通して、顔や色の実体、2D で表現することなど、視覚から見た世界を知っていきます。作品に登場し、加藤と共に製作する見えるスタッフも、加藤とのやりとりを通じながら、視覚のない世界を想像し、考え、垣間見ていきます。本作品では、見えない加藤と見えるスタッフ、それぞれが互いの頭の中にある“イメージ”を想像しながら、加藤が描く映画がつくられていく過程を追いかけていきます。加藤の監督する短編映画は、近未来の宇宙の小惑星を舞台にした、生まれながらに全盲の男と見える相棒が“ゴースト”と呼ばれる存在を追う SF アクション映画になります。それはまるで、映画制作の現場で浮かび上がる、「見える／見えない世界」の間に漂う何かとも重なります。ドキュメントとフィクション、二つの世界に漂う“ゴースト”を、捕らえることでしょうか。監督は、本作品の前作である『インナーヴィジョン』、『マイノリティとセックスに関する、極私的恋愛映画』などマジョリティとマイノリティの境界線に焦点を当てた作品を多く手がけてきた佐々木誠。プロデューサーには、障害を“世界を捉え直す視点”として展覧会やパフォーマンスなどのプロジェクトを企画してきた田中みゆき。また、加藤が監督する映画『ゴーストヴィジョン』には、『シン・ゴジラ』『バイオハザード』シリーズのプリビズやCGの制作チーム、『ファイナルファンタジー XV』の開発チーム、国内外で活躍する美術家の金氏徹平など、幅広い分野のクリエイターたちが協力しているほか、山寺宏一、石丸博也など豪華声優陣、作家のロバート・ハリスもキャストとして参加する、前代未聞の映画制作をめぐる冒険ドキュメンタリーになります。

つきましては、ぜひ貴社媒体にて本作品をご紹介頂きたく、情報掲載のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

何とぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

「ナイトクルージング」

(2018年/日本/144分)

監督：佐々木誠

プロデューサー：田中みゆき

出演：加藤秀幸ほか

上映期間：5/11 (土)～5/24 (金)

5/11 (土) 12:40、12 (日) 17:45

5/13 (月)～16 (木) 12:10 ※火曜休

5/17 (金)、18 (土) 17:15、19 (日) 13:15

5/20 (月)～23 (木) 17:15 ※火曜休

5/24 (金) 13:15

料金：一般1700円、学生1400円、シニア1100円

※かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり

配給：アップリンク



©一般社団法人 being there インビジブル実行委員会

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 岡本）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

1/3